

国連における国際保交渉の現場から

～南北対立の克服と協力の模索～

講師： **喜多 洋輔 さん** 外務省 国際協力局 国際保健戦略官



日付	11月30日(土) 14:00~15:30
会場	婦選会館
参加人数	18人 参加費 800円
担当委員会	国際・開発委員会

国際経験の始まり 中国での麻薬使用者の注射器使い回しの問題等に携わり2009年からジュネーブにある世界保健機関(WHO)に出向。世界マラリアレポート、カンボジアで薬剤耐性マラリアの調査、結核対策、HIV治療の国際ガイドライン作成、アフリカ諸国等でのHIV治療の標準化に関与した。

コロナ禍初期対応 2019年4月に本省の国際課国際保健企画官となり医療の海外展開を担当する部局も兼任。2020年年初からCOVID-19禍の初期対応を担当、ダイヤモンドプリンセス号対応ではG7の保健大臣と加藤厚労大臣(当時)との電話会議、WHO西太平洋地域事務局やデータ解析専門家とも協働した。乗客を船から早く出せと各国の大使館が大騒ぎ、押しつけてくる海外メディアに対し尾身茂先生を伴い外務省で定期的に記者会見をした。

国連日本政府代表部での4年間:パンデミックと国際交渉の最前線 2020年6月下旬からニューヨークの国連日本政府代表部に参事官として赴任。COVID-19パンデミックの真ただ中、国連の保健関連議題の交渉を日本政府代表の外交官として担当。グローバルサウスの国々の台頭に加え、ウクライナ、ガザの関係で各国の分断が深まり、国連のあらゆる場面で全員のコンセンサスで決議することが難しくなっていることを痛感。本来は政治的な争いを超えて合意しやすい保健議題も分裂を深めている。この間、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)、抗菌薬耐性(AMR)、高齢化といったテーマでの国連総会決議の交渉を担当。公平な医薬品アクセスや、グローバルな製造・流通体制のあり方についても、日本政府の立場を踏まえて交渉に臨んだ。「交渉では『日本は何をしたいのか』が問われる。どのような未来像を描いているのか、そのためにどんな枠組みが必要か、言語化し国際社会に伝えることが不可欠」と感じる。その後、国連の第57回人口開発委員会事務局メンバー(副議長)として成果文書交渉のファシリテーターとして「性と生殖に関する健康」の議論を議長とともに取り仕切った。

UHCと国際貢献 UHCは国連(WHO)で定義づけられ、2015年に国連で決議されたSDGsのゴール3(健康と福祉)の中で2030年までの達成が掲げられ、1961年にUHCを達成した日本は唱道したリーダーの一員として貢献している。グテーレス事務総長がNHK記者による切り込んだ問いに、国連は戦闘を止めるために存在するものではない、何かしら人々が共通に取り組める(come together)エリアがあるのではないかと発言はヒントになる。保健は共通に取り組めるエリアであり、国連のUHCのフレンズグループは日本、タイ、ジョージアが共同議長で、ロシアや米国も含め70か国もの参加国の多いフレンズグループの一つとなっている。国際貢献には資金拠出だけでなく途上国への人的貢献、知恵の貢献がある。軍事のようなハードパワーでなく日本のアニメのような海外で有意な力を持つソフトパワーが大事になる。UHCは日本発の知恵、コンセプトとして人間の安全保障の概念と共に日本外交が活かせる武器として重要である。

予防接種のこと 11年前に子宮頸がんワクチン導入を担当した際、副反応問題に直面した。2022年に接種勧奨が再開、キャッチアップ接種も実施されるようになったが、日本は先進国の中で子宮頸がんの予防が遅れてしまっている。ワクチンの啓発だけでなく、公衆衛生事業を推進させるには、ビッグデータの疫学的解析に基づくエビデンスが重要であり日本もデータ蓄積に取り組む必要がある。

キャリアを振り返って:専門性と現場感覚の掛け算 国内外を問わず、現場に根ざした経験を積み重ねてきた喜多さん。臨床医としての視点を出発点に、厚生労働省での政策形成、WHOでの技術的支援、外務省や国連での国際交渉と、異なる立場から保健に向き合ってきた。「キャリアの岐路で迷ったときは、目の前の人の期待に応えようと全力を尽くしてきた」と振り返る。その積み重ねが、結果として多様な経験を可能にし、今の立場につながっている。若い世代へのメッセージとして、「将来のキャリアを予め決めすぎる必要はない。どこにいても、『その場で求められていることは何か』を考えながら、一つひとつの仕事に真摯に向き合えば、自然と次の道が開けてくる」と語った。取り組んできた具体的な事案について臨場感溢れる国連内でのやりとりや動画も供覧しながら、丁寧に解説してくださり、グローバルヘルスの現場で日本の外交に貢献するキャリアとしての熱い語り口に18人全員が感銘を受けた。